

■過去の展示歴－2018年

05/14～06/09 「源氏物語展－読む・描く・広がる－」

07/14～07/24 「想いをつなぐ炎－古代オリンピアから日本へ－ストラトス・クリム氏所蔵トーチ展」

09/25～11/04 「形象化された〈満・蒙〉－日本大学文理学部所蔵ビジュアル・メディアを中心として－」

11/19～01/19 「クビナガリュウとアンモナイトの化石展－白亜の大地に広がる北海道中川町から－」

平成 30 年度 日本大学文理学部資料館展示会

源氏物語展－読む・描く・広がる－

【会 期】

平成 30 年 5 月 14 日(月)～6 月 9 日(土)

【開館時間】

平日 10 時～17 時(土曜は 13 時まで)

【休館日】

日曜日

※ただし、5 月 26 日(土)、27 日(日)は平日の時間で特別開館

【展示会の概要】

本展は、日本大学文理学部が所蔵する写本や版本、個人所蔵の絵画資料といった、多彩な源氏物語関連資料の展示を通じ、源氏物語がどのような形で読み継がれてきたのか、又その伝統や様相についても考える機会となれば幸いです。入場は無料です。お気軽にご来館下さい。

日本大学図書館所蔵の「源氏物語・三条西家証本(53 帖のうち 2 帖)」につきましては、5 月 21 日(月)から 6 月 2 日(土)の期間限定展示となります。

【主催】日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【協力】日本大学図書館・有吉保氏(日本大学名誉教授)

日本大学国文学会・日本大学文理学部図書館

【協賛】中古文学会

▲[ページトップへ](#)

平成 30 年度 日本大学文理学部資料館展示会

「想いをつなぐ炎ー古代オリンピアから日本へー

ストラトス・クリム氏所蔵 トーチ展」

【会 期】

平成 30 年 7 月 14 日(土)～7 月 24 日(火)

【開館時間】

平日 10 時～17 時(7 月 21 日(土)は 13 時まで)

【休館日】

7 月 22 日(日)

※ただし、7 月 14 日(土)、15 日(日)は平日の時間で特別開館

【展示会の概要】

本展では、ギリシャ在住のストラトス・クリム氏所有のオリンピック関連コレクションから、夏季オリンピック聖火トーチ 24 本、冬季オリンピック聖火トーチ 6 本、パラリンピック聖火トーチ 6 本と共に、聖火採火式の際に巫女が着用するドレスを展示致します。

本展を通じて、オリンピック発祥の地であるギリシャとオリンピックに関心を持って頂く機会となれば幸いです。

【主催】 駐日ギリシャ大使館, 在日ギリシャ商工会議所

日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【協賛】 株式会社 明治

【協力】 ストラトス・クリム氏, 日本ギリシャ協会

【後援】 オリンピア市, ギリシャ文化・スポーツ省スポーツ事務局

▲[ページトップへ](#)

形象化された〈満・蒙〉

—日本大学文理学部所蔵ビジュアル・メディアを中心として—

【会 期】

平成 30 年 9 月 25 日(火)～11 月 4 日(日)

【開館時間】

平日 10 時～17 時(土曜は 13 時まで)

【休館日】

日曜日、10 月 15 日(月)、10 月 31 日(水)

※ただし、9 月 30 日(日)、11 月 3 日(土)・4 日(日)は平日の時間で特別開館

【展示会の概要】

日本大学文理学部では、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(平成 15～19 年度)や文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(平成 22～24 年度)をはじめとした様々な研究助成を受け、戦前・戦中期東北アジア地域におけるビジュアル・メディアに関する学際的研究を重ねてまいりました。

今回の展示では、その間において収集・整理した資料のなかから、戦前・戦中期の日本で「満洲」や「蒙古」と呼び慣らわされていた地域に関するビジュアル・メディアを中心に展示し、日本において同地域が如何に認識されていたのかを紹介してまいります。

【主催】日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【共催】日本大学文理学部情報科学研究所

【協力】公益財団法人 東洋文庫

【シンポジウムのご案内】

日 時:10月27日(土)10時～17時

場 所:日本大学文理学部オーバルホール(図書館棟3階)

主 催:日本大学文理学部情報科学研究所

【ギャラリートークのご案内】

日 時:10月6日・27日(土)12時10分～13時

場 所:日本大学文理学部資料館展示室

解説者:松重充浩氏(日本大学文理学部教授)

※どちらも、参加費・事前申し込みは不要です。どなたでもお気軽にご参加下さい。

「クビナガリュウとアンモナイトの化石展」

「白亜の大地に広がる北海道中川町から」

【会 期】

平成 30 年 11 月 19 日(月)～1 月 19 日(土)

【開館時間】

平日 10 時～17 時(土曜日は 13 時まで)

【休館日】

日曜日、12 月 26 日～1 月 8 日、1 月 14 日

【展示会の概要】

北部北海道に位置する中川町は、北見山地と天塩山地の間を流れる天塩川沿いに拓けた人口 1,500 人余りの酪農と林業の小さな町です。町には白亜紀後期(1 億年前～7,000 万年前)の地層が広がり、アンモナイトをはじめとする化石が多数発見されます。本展示会では、関東初公開となる日本最大のクビナガリュウの全身復元骨格、東アジア初の新種の海水魚ナカガワニシン、虹色に輝くアンモナイトなど、100 点以上の標本を展示し、中川町の化石の魅力にいてご紹介します。

【主催】日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

【共催】中川町エコミュージアムセンター

【後援】北海道中川町、中川町教育委員会、中川町商工会、中川町観光協会

東京都世田谷区、世田谷区教育委員会、下高井戸商店街振興組合

【展示会関連企画 シンポジウム・化石教室のご案内】

特別記念シンポジウム「恐竜時代の北海道」

日 時:11月23日(金・祝) 9 時 30 分開場 10 時開会～12 時閉会

場 所:日本大学文理学部オーバルホール(図書館棟3階)予定

* 参加無料・自由

【化石教室】

日 時:11月23日(金・祝) 13:30～、15:00～

12月15日(土) 13:30～

会 場:日本大学文理学部内

各1時間半ほど、展示の見学および化石のクリーニング体験を行います。